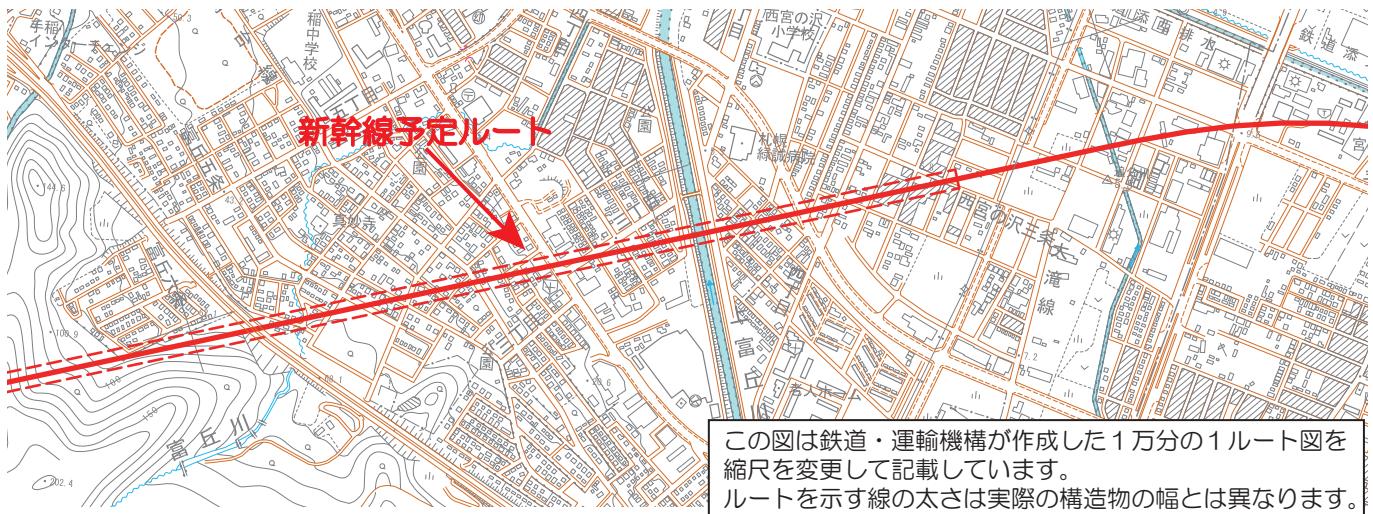


◇ 富丘・西宮の沢地区計画図



◇ 地元説明会開催概要

日 時 平成24年11月16日（金）18:30～、18日（日）13:30～

場 所 富丘西宮の沢会館 出席者 16日 120人、18日 101人

説明者 鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局、札幌市市民まちづくり局新幹線推進室

主な質疑

【質】ルートの正確な位置や用地幅が分かる詳細な図面を見たい。

【答】測量を行なわなければルートの正確な位置を示すことができない。事業の進捗のためにも、測量へのご協力をお願いしたい。用地幅は、高架部分で概ね12mであるが、構造物の設計を行わなければ、詳細は分からぬ。

【質】当地区は地下水位が高いうえ、地盤も悪く、工事による影響が心配だ。

【答】軟弱地盤であることは承知している。今後、詳細な調査を行い適切な設計を行いたい。機構では軟弱地盤での施工実績も十分ある。万が一、支障が出た場合は補償対応させていただく。

【質】なぜ西宮の沢地区を通るルートにしたのか。

【答】新幹線は高速で走行することを重視して線形を決める。JR函館本線脇の土地を有効利用して札幌駅へ到達するのに最適なルートと考える。

【質】騒音、振動はどれくらいか。説明会はまだ行うのか。

【答】それぞれ基準値があり、それをクリアすべく対応していく。万が一クリアでないときは、別途家屋に対策を実施することとなる。概略設計の際や用地取得前に説明会を実施する予定であるほか、工事前に施工業者が説明会を開催する。日程については未定である。決まり次第お知らせする。

【質】トンネル上の土地は買収するのか。

【答】トンネル部の用地の扱いは、これまでの例では、トンネルが浅ければ買収し、深ければ区分地上権設定する。区分地上権設定の深さは今後検討する。

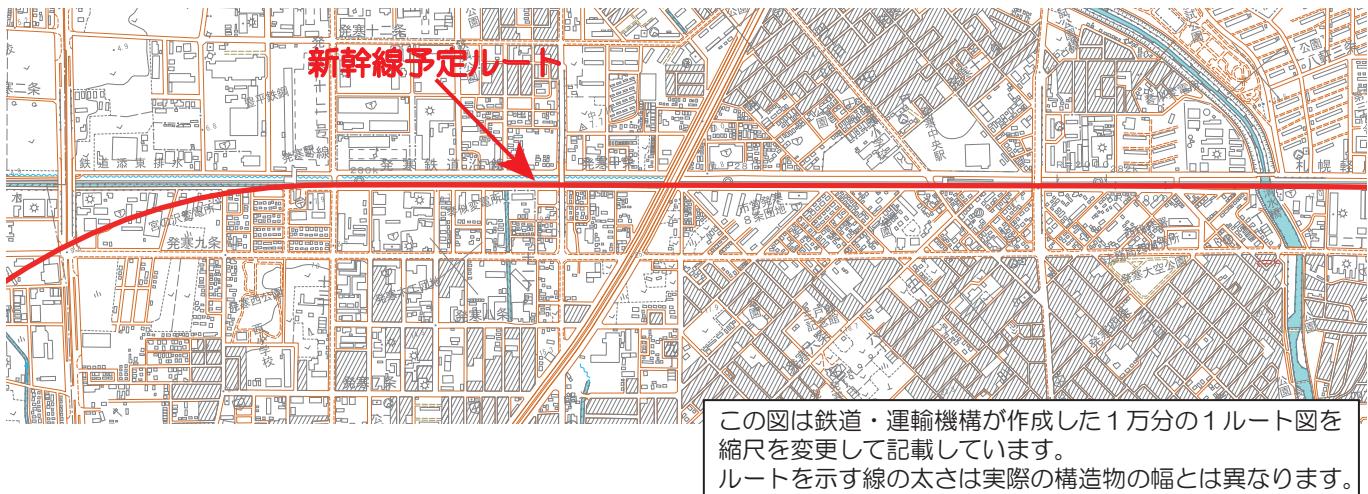
【質】当地区のあたりでは時速何kmくらい出ているのか。

【答】設計速度は260km/hだが、在来線から離れる部分のカーブが急なため、そこまでのスピードは出ないとと思う。その分、振動や騒音も小さくなる。

【質】安い価格で用地買収され、立ち退きを求められても引越しできない。

【答】引越しを伴う場合でも、今まで通りの生活ができるような補償をさせていただいている。

◇ 発寒・西町地区計画図



◇ 地元説明会開催概要

日 時 平成24年11月13日（火） 18:30～

場 所 西区民センター 出席者 134人

説明者 鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局、札幌市市民まちづくり局新幹線推進室

主な質疑

【質】既存高架と二階建にするとかトンネルにする等、計画を変更できないのか。

【答】高架構造を前提に設計を進めることになるが、一般論として様々な現場条件により計画変更が必要となる場合もあると思う。

【質】用地買収の時期はいつ頃か。

【答】測量作業は来春に着手し年内の予定。設計期間については協議状況にもよるので、現段階では終了時期は分からぬ。よって、用地・補償協議の開始時期も未定。測量に入る際には、地権者等へ個別に連絡してから作業を行う。

【質】既存の跨線橋の上では高架の高さはどの程度になるのか。

【答】地面からだと15m程度と思う。札樽道を過ぎてから札幌駅までは既存の高架と同程度の高さになる。

【質】全体のスケジュール、特に用地・補償協議が始まるまでの期間は。

【答】現段階ではスケジュールを示すことが難しい。平成47年頃完成予定という長期スパンの事業であり、事業スケジュールは測量、調査、設計や国の予算状況に左右されるので、いつ頃から具体的にどのあたりを工事するのかということに関しては今の段階では申しかねる。工事については、用地取得が比較的短期間で終わるトンネル工事を先行して進めていきたいと考えているが、具体的にどこから始めるかは未定。

【質】説明会は今回が最後か。

【答】設計協議時や用地取得に関する説明会等を適宜を実施する予定。

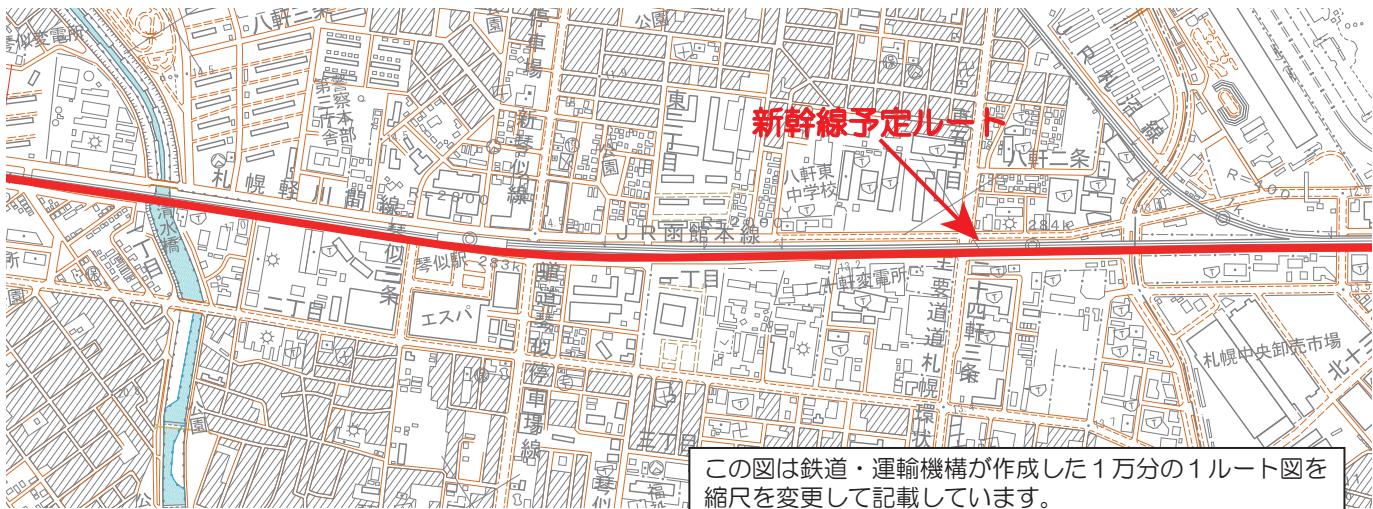
【質】工事に必要な用地はどのくらいか。また隣接する道路は通行止めになるのか。

【答】工事用地は施工方法によって変るので現段階では分からぬ。工事のためだけに必要な用地は施工業者が借用する。新幹線用地に幅があるので隣接する道路を長期間通行止めにすることは無いと思う。

【質】騒音、振動、日照阻害などへの対応はどう考えているのか。

【答】騒音、振動は基準値内に収まるよう施設側で対応するが、それでも基準値を超える場合は個別に対応する。基準を超える日照阻害は基準に基づいて補償する。

◇ 二十四軒東・琴似地区計画図



この図は鉄道・運輸機構が作成した1万分の1ルート図を縮尺を変更して記載しています。
ルートを示す線の太さは実際の構造物の幅とは異なります。

◇ 地元説明会開催概要

日 時 平成24年11月13日（火） 18:30～

場 所 西区民センター 出席者 134人

説明者 鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局、札幌市市民まちづくり局新幹線推進室

主な質疑

【質】既存高架と二階建にするとかトンネルにする等、計画を変更できないのか。

【答】高架構造を前提に設計を進めることになるが、一般論として様々な現場条件により計画変更が必要となる場合もあると思う。

【質】用地買収の時期はいつ頃か。

【答】測量作業は来春に着手し年内の予定。設計期間については協議状況にもよるので、現段階では終了時期は分からぬ。よって、用地・補償協議の開始時期も未定。測量に入る際には、地権者等へ個別に連絡してから作業を行う。

【質】既存の跨線橋の上では高架の高さはどの程度になるのか。

【答】地面からだと15m程度と思う。札樽道を過ぎてから札幌駅までは既存の高架と同程度の高さになる。

【質】全体のスケジュール、特に用地・補償協議が始まるまでの期間は。

【答】現段階ではスケジュールを示すことが難しい。平成47年頃完成予定という長期スパンの事業であり、事業スケジュールは測量、調査、設計や国の予算状況に左右されるので、いつ頃から具体的にどのあたりを工事するのかということに関しては今の段階では申しかねる。工事については、用地取得が比較的短期間で終わるトンネル工事を先行して進めていきたいと考えているが、具体的にどこから始めるかは未定。

【質】説明会は今回が最後か。

【答】設計協議時や用地取得に関する説明会等を適宜を実施する予定。

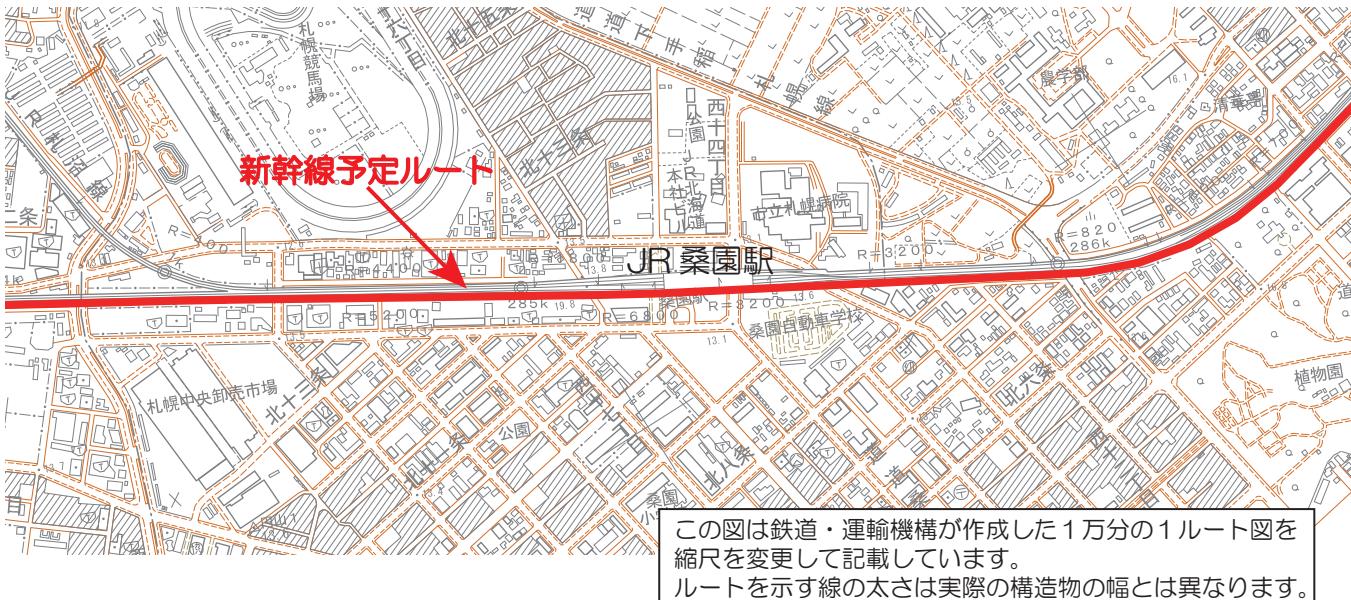
【質】工事に必要な用地はどのくらいか。また隣接する道路は通行止めになるのか。

【答】工事用地は施工方法によって変るので現段階では分からぬ。工事のためだけに必要な用地は施工業者が借用する。新幹線用地に幅があるので隣接する道路を長期間通行止めにすることは無いと思う。

【質】騒音、振動、日照阻害などへの対応はどう考えているのか。

【答】騒音、振動は基準値内に収まるよう施設側で対応するが、それでも基準値を超える場合は個別に対応する。基準を超える日照阻害は基準に基づいて補償する。

◇ 桑園地区計画図



この図は鉄道・運輸機構が作成した1万分の1ルート図を縮尺を変更して記載しています。
ルートを示す線の太さは実際の構造物の幅とは異なります。

◇ 地元説明会開催概要

日 時 平成24年11月19日（月） 18:30～

場 所 桑園地区会館 出席者 37人

説明者 鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局、札幌市市民まちづくり局新幹線推進室

主な質疑

【質】新幹線の用地が分かる資料はないのか。

【答】測量・調査をしなければ分からない。まずは現地の測量・調査を行い、構造物の概略が分かり次第、改めて説明させていただく。

【質】説明時期はいつ頃か。また、建物等が新幹線用地にかかる場合はどうなるのか。

【答】事業のスケジュールは測量、調査、設計や国の予算状況に左右されるので、現段階では分からない。土地・建物等がかかる場合は基準に沿って補償させていただく。

【質】測量・調査はいつ頃から始めるのか。また、順調に進んだ場合の工事の時期は。

【答】測量は来年から開始する。設計は地質調査結果によって変わる場合もあるので終了時期は分からない。設計後、用地取得など条件が整ってから工事着手となる。

【質】全ての地権者の了解がないと工事は発注しないのか。

【答】用地が確保できなければ工事着手できない。

【質】全体の工程が知りたい。概略で示せないか。

【答】設計、予算など条件が整ってから着手となるので、現段階では明言できないが、地上部（明かり区間）の工事は、完成後の構造物のメンテナンスが必要となるため、できるだけ後で施工したい。

【質】ボーリング等によって騒音は発生しないのか。

【答】環境基準を遵守する。

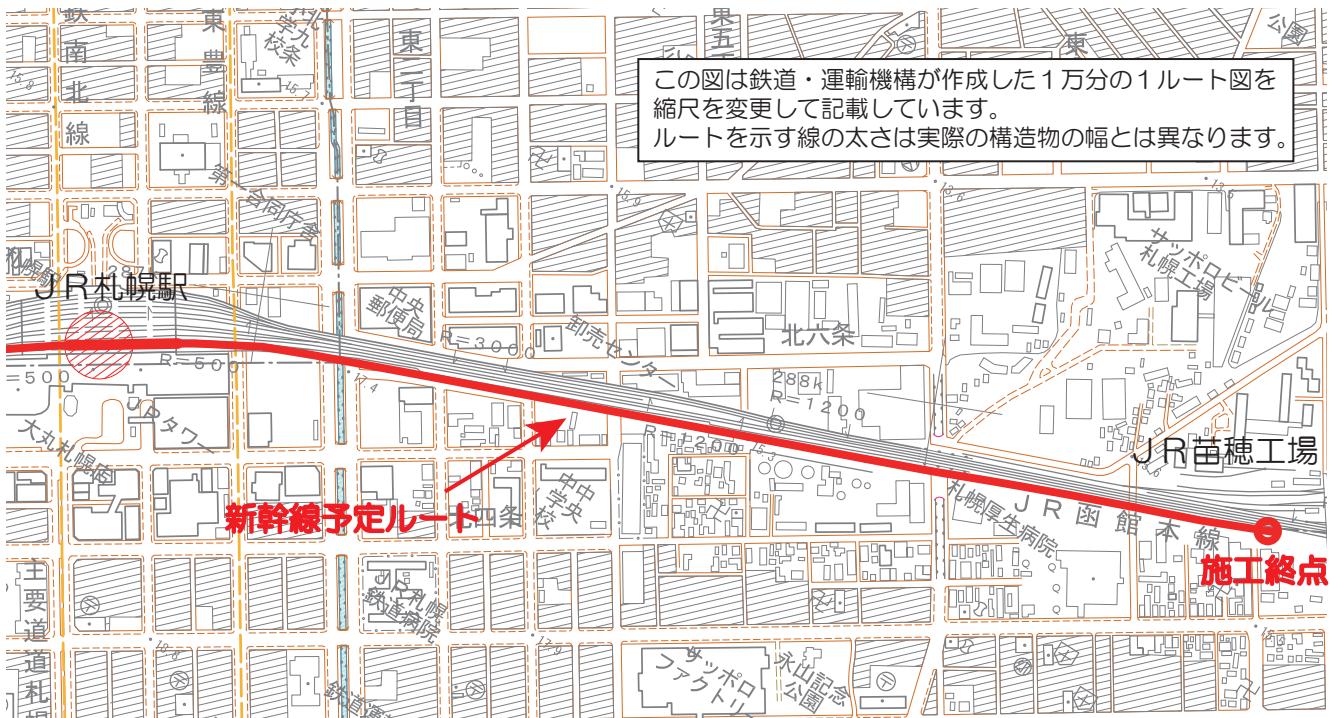
【質】新幹線の高架橋は既存の高架とは別に造るのか。

【答】新幹線の構造物は在来線とは別構造となる。ただし、札幌駅付近では既存の1・2番ホームを新幹線が使用するため、既存高架と一体となる。

【質】出席できなかった人のために、議事内容を周知して欲しい。

【答】札幌市からお知らせする。

◇ 東北・苗穂地区計画図



◇ 地元説明会開催概要

日 時 平成24年11月8日（木） 18:30～

場 所 中央体育館多目的室 出席者 17人

説明者 鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局、札幌市市民まちづくり局新幹線推進室

主な質疑

【質】今後、説明会は適宜開催されるのか。

【答】設計の進捗や用地測量前、工事前等に適宜説明会を開催する。

【質】次の説明会や用地幅杭の建植はいつ頃を予定しているのか。1～2年後か。

【答】事業のスケジュールは測量、調査、設計や国の予算状況に左右されるので、現段階では分からぬ。測量、設計は来年度を予定しているが、用地測量は1～2年後では無いと考える。

【質】苗穂地区での用地買収はあるのか。

【答】苗穂地区には車両基地ができるが、詳細は設計が進まないとわからない。

【質】現在のJR苗穂工場の役割は。

【答】新幹線ではJR苗穂工場は使用しない。高架橋上での簡単な点検等のみを行う。

【質】中心線の位置が変ることはあるのか。

【答】調査、設計が進む中で中心線の位置が変る可能性はある。

【質】新幹線ルート北側では日照障害が発生するのではないか。

【答】詳細な設計を行わなければ分からない。発生することが判明次第、対応する。